

重要課題(マテリアリティ)

事業が経済・社会・環境に与えるインパクトとUSSが取り組むべき重要課題を特定しています。

2022年度には、長期的な財務インパクト(リスク・機会)も視野に入れて見直しを実施し、取締役会において承認・決定しました。

また、2023年度には、重要課題毎に管理指標(KPI: Key Performance Indicator)を策定しました。

特定プロセス

STEP 1 課題の抽出

GRIスタンダードやSDGs(持続可能な開発目標)などを参照し、候補となる社会課題を網羅的に洗い出しました。

STEP 2 優先順位付け

当社グループの事業特性、長期的な事業戦略、およびステークホルダーの要請を踏まえて優先度を決定しました。

STEP 3 重要課題の 特定・ 見直し

取締役会の承認を経て、5つの重要課題を特定しました。また、マテリアリティ毎に長期的なインパクトを明確化しました。

STEP 4 KPI 策定

重要課題毎に取り組みのPDCAを管理していくために、KPIを設定しました(P.25-26参照)。

重要課題(マテリアリティ)

資源循環



気候変動



人材マネジメント



情報管理



公平・公正な取引



特定理由	長期的な財務インパクト (☑: 機会 R: リスク)
社会全体でサーキュラーエコノミーの確立が求められる中で、 ● オートオークション事業を通じて、自動車のリユース(再利用)に貢献できる。 ● リサイクル事業を通じて、自動車や工場設備等のリサイクル(再資源化)に貢献できる。	☑ 中古車に対する安定的な需要 (オートオークション事業) ☑ 自動車や工場の解体・再資源化 ニーズの拡大(リサイクル事業) - R シェアリングエコノミーなどの 価値観台頭による中古車市場の縮小
社会全体でカーボンニュートラルが求められる中で、 ● 新車販売においてEV車が増加した場合、オートオークション事業に財務的インパクトが生じる可能性がある。 ● 自社およびバリューチェーン上での温室効果ガス削減取り組みが必要。	☑ EV車への買い替え需要による 中古車市場の活性化 - R 自社およびバリューチェーン上における 温室効果ガス削減(ネットゼロ化)に 関するコストの増大
国内の労働人口が減少する中で、オートオークション事業における車両検査員をはじめデジタル人材など、長期的な成長を実現するための多様な人材を獲得する必要がある。	☑ 多様な能力を持つ人材の獲得 - R 労働人口減少にともなう 求職者の減少 - R 人員年齢構成の偏りによる 事業推進の停滞
オートオークション事業において、会員の個人情報・機密情報を取り扱う。	☑ ビッグデータの多面的活用による 事業拡大 - R 個人情報・機密情報漏洩による 評判低下・会員減少
一部会員への優遇など不正が行われた場合、オークションの公平さ・公正さが毀損される。	☑ 公平さ・公正さの維持・訴求による ブランド価値向上 - R 不正取引による評判低下・会員減少